



AND THEN THERE WERE NONE

月十人のインディアンの子供  
 ごはんを食べて一人がのどをつまらせて  
 九人になつた  
 ここはインディアン島……………

マザーグースの歌が流れ  
 一枚の招待状によつて見も知らぬ  
 十人の男と女が孤島の別荘に招かれた時  
 謎の殺人がはじまつた！  
 インディアン人形が一個消えるごとに  
 一人／また一人殺されてゆく――

今世紀最大の推理作家アガサ・クリスティー  
 最高傑作！完全映画化  
 スクリーンを見つめるあなたを  
 恐怖のどん底におとしいれます。

■原作アガサ・クリスティー  
 原作本は売り切れ続出  
 週刊読売推理小説特集  
 史上ベスト2  
 読書新聞ベストセラー発表  
 第一位を独走

■監督「巴里祭」の名匠  
 ルネ・クレール



主演 ウォルター・ヒューストン  
 バリー・フィッツジェラルド  
 ルイス・ヘイワード

<日本初公開>



提供 インターナショナル・プロモーション(株)

そして  
 誰もいなくなつた

# そして誰もいなくなった

## ■スタッフ

監督……………ルネ・クレール  
 原作……………アガサ・クリスティー  
 脚色……………ダドリー・ニコルズ

## ■キャスト

ウォルター・ヒューストン  
 バリー・フィッツジェラルド  
 ローランド・ヤング  
 ジュディス・アンダーソン  
 ジューン・デュプレ  
 ルイス・ヘイワード

## AND THEN THERE WERE NONE



### ★ポワロが死んで、クリスティーが去った

傑作ミステリーの映画化「そして誰もいなくなった」が遂に日本で公開される。

ダンディーな小男、灰色の脳細胞をもつ禿頭のベルギー人、世界推理小説史上名高い名探偵エルキュール・ポワロの死は新聞の「社会面」で扱われるほどの話題となった。だが、それにもまして全世界が沸き上がったのはポワロの生みの親アガサ・クリスティーの死だった。

「アクロイド殺し」「オリエント急行殺人事件」「ABC殺人事件」「カーテン」等推理小説マニアたちのベストテン投票に必ず顔を出す数々の傑作を書き続けたこのミステリーの女王は、ポワロの出ない推理小説もそれに劣らず数多く書いている。その中でも最高と目されているのが「そして誰もいなくなった」である。

### ★才気煥発ルネ・クレールの映像

しかも、この作品を映画化したのが「巴里の屋根の下」「巴里祭」などでファンを魅了し、鬼才の名をほしいままにしたルネ・クレール。そのルネ・クレールが戦時中ナチスを嫌ってアメリカに渡った時に作った作品である。近頃、翻訳やレコードが出て話題のマザー・グースの唄にのって孤島に招かれた10人が次々と殺されていくスリルとサスペンス。その10人に扮するのはいずれも名優揃い。これらの名優がきそいあう演技、そして、こうした名優たちがおしげもなく殺されていく贅沢さがクリスティー・ファンをきっと満足させ、またなじみのない人々を新たにクリスティー・ファンにさせるに違いない。

### ★孤島に招かれた10人を襲うマザー・グースの暗い影

10人のニグロの子供 ごはんをたべて  
 ひとりがのどをつまらせて 9人になった

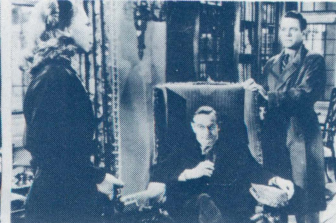
横たわる第一の死者を前にして他の9人が思い浮かべたのはこんなマザー・グースの歌の一節だった。なぜなら各自の部屋にはこの歌が飾ってあったし、皆は丁度食事の上でホールにはインディアン人形が10個置いてあったからだ。ここは絶海の孤島、そこに招かれた10人は互いに一面識もなく、なんのために自分達が招かれたかも知らなかった。

だが、皆がさらに不安になったのは翌朝のことだった。人々が起きてみると、第二の犠牲者が死んでいたのだ。しかも驚いたことに下のホールの人形も8つになっていた。何者かが見えないところで動きまわり、事はあの有名な歌どおりにはこんでいくではないか！ このまま事が進むとすれば自分達の運命は目に見えている。だが、犯人はどこにいるのだろうか？

人々の心には昨日まで見ずしらずだった互いへの疑惑が渦巻き始めた。犯人は一体、誰なのだろうか。

**アガサ・クリスティー女史**  
 英国の推理作家、劇作家アガサ・クリスティー女史は十二日、英国オックスフォードシャーのウイリングフォードにある自宅で死去した。八十五才。  
 灰色の脳細胞を持つエルキュール・ポワロが活躍する推理小説で世界的に有名。英国デボンの出身で、一九一四年最初の結婚後、一九二〇年から作品を発表、男子のナイトに当るチームの称号を贈られ、英国王立文学協会の会員でもあった。(中略)

最新作「カーテン」で長年活躍したポワロを死にさせ、ファンを驚かせたが、これも死期の近づくのを知った女史の遺言的なものであったのかもしれない。  
 (ロンドン＝共同)



次から次へと起る謎の殺人……アガサ・クリスティーの最高傑作の映画化！

●お得な特別鑑賞券¥800発売中<大人1000円・学生900円のところ>

前売券は岩波ホール/各プレイガイドで発売中 団体・職域鑑賞は(株)ウイズダム(563)6043へ

8月7日(金)から特別ロードショー

提供インターナショナル・プロモーション

エキブ・ド・シネマ第8回ロードショー

岩波ホール (262) 5252

地下鉄<都営6号線>神保町/国電・水道橋駅下車